

Affiliated with the International Association
THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HACHIOJI
Chartered October 30, 1994



〒192-0906
東京都八王子市北野町575-22
並木 真 TEL: 090-4314-3044
Fax: 042-649-5276
E-mail: m.namiki1020heartbeat@gmail.com

2024年8月

The Service Club of The YMCA

第350号

東京八王子ワイズメンズクラブ

会長	並木 真	国際会長 A シャナヴァスカーン (インド) 主題「より良い世界のために、共に」
副会長	久保田 貞視	スローガン「立ち上がろう、そして輝こう」
書記	小口 多津子	アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウォン (台湾) 主題「大きなインパクトを起こそう」
会計	長谷川あや子	スローガン「大胆に、信念を持って奉仕しよう」
直前会長	花輪 宗命	東日本区理事 山田 公平 (宇都宮) 主題「ワイズの方向性を見極める」
担当主事	菅野 牧夫	スローガン「ユースエンパワーメントをYMCAと共に」
プリテン	山本英次 大久保重子	あずさ部部长 ピーター・マウントフォード (甲府) 主題「めあて 望み」
		八王子クラブ会長 並木 真 主題「協働と共感」

2024年8月例会プログラム

(直前会長感謝会)

担当班A班(花輪、久保田、並木(真)、望月)

日時:2024年8月10日(土) 16:30~18:30

会場:JR八王子駅北口 居酒屋「北海道」

ツインタワービル6階

<プログラム>

- ・開会点鐘 並木(真)会長
- ・直前会長への慰労・感謝の言葉 久保田副会長
- ・ゲスト・ビジターの紹介 並木(真)会長
- ・会食・歓談
- ・出席者からの一言 メンバー・ゲスト
- ・ハッピーバースデー(並木美奈子さん)
- ・閉会点鐘 並木(真)会長



巻 頭 言

「協働と共感」 キック オフ例会挨拶

会長 並木 真

前期は「できることをやろう」を会長のテーマにさせていただきました。コロナが5月にあけて、本当に中大生の皆様と共に初めて活動できたことが多くて充実した日々を過ごせたのではないかとと思っています。今年の会長のテーマは、【協働と共感】と、ちょっと漢字で固いテーマにさせていただきます。

内容としては、やはり、中央大学ひつじぐものバックアップを続けていきたいと思います。共に何かをしたというふうと思っています。例えばユースアクションです。



今月の聖句(2024年8月)

「されにラベ」と呼ばれている所に来ると、そこで人々はイエスを十字架につけた。犯罪人も、一人は右に一人は左に、十字架につけた。(その時、イエスは言われた。「父よ、彼らをお赦しください。自分が何をしているのかわからないのです。」)人々はくじを引いて、イエスの衣を分け合った。民衆は立って見つめていた。議員たちも嘲笑って言った。「他人を救ったのだ。神のメシアで選ばれた者なら、自分を救うがよい。」

(新約聖書 ルカによる福音書 23:33~35)

ひつじくもの人たちは、これから川口市で居場所づくり、外国人の方々の居場所づくりということで、川口市とプログラムを行う予定ですが、それを邪魔しないように共に参加して、共にそれを感じる。若い人たちと、いろんな世代の方たちが共感できるような、そういう活動ができれば今年もいいな、というふうに思っています。それで、【協働と共感】というテーマにさせていただきました。これからは様々なことを続けて、交流をしていけたらいいと思っておりますし、是非YMCAのプログラムがありましたら、それにも積極的に参加して頂きたい。私もしていきたいと思っておりますし、リーダーたちや、若いスタッフたちとの交流もしていけたらいいな、というふうにも思っています。



懐かしや！真会長の入会式 ↑

あずさ部「信濃の国評議会」に出席して

久保田貞視

7月27日(土)松本クラブホストによるあずさ部「信濃の国評議会」が開催され当クラブからは並木真会長、長谷川さん、小口さん、稲葉さん、久保田の5人が出席し、合計で51名の出席となりました。大会前に松本城に行くことになり国宝松本城に。その後、近くで信濃そばをいただき、炎暑の中、蔵通りを通り、会場のあがたの森公民館(旧制松本高等学校校舎)に着きました。

評議会は13時に始まり、ピーター・マウントフォード部長(甲府クラブ)の開会点鐘で始まり、議案審議は第一号議案の会計報告は直前会計の倉石ワイズが概況を報告異議なく承認された。

第三号議案は次次期部長推薦の件では順番制で松本クラブが担当であるがまだ決まらず、次回の評議会でも再審議することになりました。第1回東日本区役員会の報告は部長に代わり、山口次期部長と大和田東日本区書記より次の報告がありました。①半年報では区の会員は



700人を初めて割り664人となったこと、②会員減による区の財政が赤字となるためサポートファンドを立ち上げ、既に寄付額が1百万円を超えたが更に支援をお願いしたいこと、③湘南沖縄部で新クラブ「Yサービス大和クリエイテブクラブ」の設立総会が9月14日を予定していることなど。続いて事業主査・会長報告は部報1号に基づいて発表されました。各クラブとも会員の高齢化と会員減少に歯止めがかからず、会員増強を第1に掲げ、クラブライブをいかに充実し、楽しいものにするかに知恵を絞っていました。懇親会では次期



700人を初めて割り664人となったこと、②会員減による区の財政が赤字となるためサポートファンドを立ち上げ、既に寄付額が1百万円を超えたが更に支援をお願いしたいこと、③湘南沖縄部で新クラブ「Yサービス大和クリエイテブクラブ」の設立総会が9月14日を予定していることなど。続いて事業主査・会長報告は部報1号に基づいて発表されました。各クラブとも会員の高齢化と会員減少に歯止めがかからず、会員増強を第1に掲げ、クラブライブをいかに充実し、楽しいものにするかに知恵を絞っていました。懇親会では次期



山口部長の乾杯の音頭の後、松本クラブ及び長野クラブによる「信濃の国」の歌と明治維新で信濃国が、長野市を中心とした長野県と松本市を主にした筑摩県に分かれたが筑摩県庁が火事で焼失、長野県に合体された経緯の物語を両クラブの会員により朗読されました。各クラブの紹介の後、アピールでは富士五湖クラブの富士山例会の、甲府21クラブがブドウの丘での納涼例会の後、当クラブは10月26日の設立30周年記念例会に多く参加していただくようお願いしました。また、松本クラブの大和田ワイズが中心となり、能登半島地震復興ボランティアの募集をしており、また募金運動を会場で行いました。赤羽会長の感謝の言葉で閉会となりました。



三クラブ合同例会に参加して

長谷川あや子

7月18日、東京YMCA山手センターで行われた東京西、武蔵野多摩、たんぽぽクラブの三クラブ合同例会に参加しました。合同例会の計画は昨年よりあったようですが、2024-25年度キックオフ例会でデビューの運びとなりました。当日はあずさ部部长ピーターさんの公式訪問でした。ピーターさんは清々しいブルーのシャツに身を包み笑顔で皆さんを迎えていらっしゃいました。ホテル学校の方も出席して下さい、老若男女相集う格好になりました。ビジターとして東京サンライズから長津さん、御園生さん、八王子クラブから長谷川、現在休会中の大輪さんが参加、賑やかな例会となりました。又、ハイブリッドの操作は武蔵野多摩の渡辺大輔会長が大活躍で頼もしい限りでした。画面には十勝クラブの山下さん、たんぽぽクラブのDBCである大阪なかのしまクラブの藤井さん、そして八王子から山本さんのお顔が見えました。武蔵野多摩の担当主事の江尻さんはお仕事が終わってからのZoom参加でした。

ピーター部長の司式によってクラブ役員合同就任式が



行われましたが、同席している私も気持ち引き締まりました。

ピーター部長の卓話は「産業革命の足跡」でした。18～19世紀の馬力、水力、蒸気力の変遷を写真をふんだんに見せながらお話して下さいました。現在は「世界遺産」として多くの観光客が訪れているようです。卓話が終わってからニコニコが回る時、参加者は一言ずつお話しますが、この「世界遺産」の場所を訪れたことのある方、これから行く予定の方もいて大いに盛り上がりました。

コロナ禍以後、集会の仕方も変わってきました。オンラインだけだったのから一歩進んでリアルとZoom両方どちらでも選択できるハイブリッド例会が主になってきました。操作を担って下さる方がいて初めてできることですが、本当に時代の変化を感じます。クラブ活性化のためにいろいろな方法があるでしょう。慣習にとらわれず新しい試みもよいと思います。

あずさ部は140名からの出発となりました。厳しい状況ですが、まず私たち自身がワイズメンズクラブの活動に喜びを感じ、その喜びを周囲に広げたいと思います。新しい風が吹いてきたようです。爽やかな風を一人でも多くの方へ届けたいと思います。

三クラブ合同例会主旨

東京たんぽぽ小原史奈子

会長主題:つどいともに学びわかちあおう

2024-2025年度も東京たんぽぽYサービスクラブ会長を継続します小原史奈子です。今期は近隣3クラブ(東京西、東京武蔵野多摩、東京たんぽぽ)合同でクラブ例会を開催することで、今までとはひと味違ったワイズ活動が展開できるのでと、楽しみにしております。たんぽぽの活動の柱であった、by 支援についても、居場所の閉鎖に伴い新たに「多文化共生スペース▽(さんかく)」に移行した活動をたんぽぽでも理解し、スペース▽の場を必要としている若者への広報やマッチングに協力したいと思います。また、コロナ禍で活動が止まっていた石巻グループホームへ、歌の出前を5年ぶりに訪問する計画です。今までと同じ活動する事は難しくなりましたが、今のたんぽぽが、直接人と出会い、学ぶ機会を得て、少しでも多くの時間をみんなと使って行く事を今期は目指そうと思っています。



ひつじぐも便り

7月定例会の感想

総合政策学部3年 松崎梨紗

こんにちは。中央大学総合政策学部3年の松崎梨紗です。7月の第1例会では、奥野玉紀さんにエクアドル・ガラパゴス諸島の保全活動と子ども食堂カフェ北野の活動についてお話を伺いました。大変貴重な機会であり、大変勉強になりました。

私はこれまでガラパゴス諸島について、地域特有の動物が



生息する場所というイメージしか持っていませんでした。しかし、お話を通じて、動物には病原菌を移さないように2m近づいてはいけないことや、エクアドル本土からの

移住を制限する必要があることを知りました。また、ガラパゴス諸島は赤道近くに位置し海流が集まるため、浜辺に大量のゴミが流れ着く問題を抱えていることも学びました。ゴミ問題を解決するために、地域の方々がカヤックやボートに乗りながら楽しみつつゴミ拾いをしている写真を見て、「楽しくなければ続かない」という言葉に深く感銘を受けました。私は義務感でしか物事を継続できず、苦しさを感じることもあるため、楽しみながら取り組む意識を心がけていこうと思います。

子ども食堂カフェのお話では、小中学生だけではなく、高校生や大学生も利用できることに驚きました。私は、子ども食堂は主に貧しい家庭の小中学生が利用する場所という認識でしたが、家庭状況や年齢などに関係なく利用できることが、より多くの子もたちにとって居心地の良い場所を作り、多様な価値観に触れる機会になると感じました。また、家と学校を往復するという閉鎖的な環境だけではなく、子ども食堂に行く選択肢があることは、子どもの成長や価値観形成において非常に重要な役割を果たしていると考えます。さらに、提供する食事は地域の野菜を使うだけでなく、工場で廃棄されるはずのおかずや地元のお店の売れ残ったパンなどを活用していて、フードロス削減や地産地消にもつながり、広く社会に貢献できる素晴らしい活動だと感動しました。

ガラパゴス諸島の保全と子ども食堂の運営には関連が薄いように見えますが、海外での経験や異文化に触れることで得た多様な価値観が子ども食堂という社会貢献活動につながることを学びました。また、現在はガラパゴス諸島のような自然保全だけでなく、経済成長や不平等の解消など、多様な問題を同時に解決していく必要があると感じます。私もさらに経験を積み、学んだことを社会に貢献できるように努めていきたいと思っています。

わくわくビレッジ便り

館長:菅野牧夫

毎日暑い日が続いています。わくわくビレッジでも冷房のない体育室は蒸し風呂のようになっています。今のところは熱中症で重篤になるような事故は起きていませんが、まだまだ暑い日が続きますので気が抜けない状況です。早く涼しい季節が来てくれることを祈っています。

先日、将来的な森の活用を考えて研修会を実施しました。参加者はわくわくビレッジにかかわる各社の皆さんです。今年度の社会教育プログラム実施に向けての調査という意味もありますが、実際に森の中に入り植物や昆虫、動物の痕跡などを探すアクティビティを行いました。専門家曰く貴重な生き物の中にはあったようですが、森自体は荒れているようです。これから生物多様性を踏まえて森の再生を考えていきます。

わくわくビレッジは今繁忙期真っ只中です。毎日あわただしい日々を過ごしていますが、今年はそれに加えて、3期契約を取るために東京都に向けての提案書の作成を進めなければいけません。先日のわくわくビレッジに係る会社の会議の中で、分科会を作り提案書の作成に向けてそれぞれ進めていくことが決定しました。コンセプトについて考える本体と、内容により13からなる分科会によって構成されます。本体と分科会はそれぞれ母船と小舟会と名称されました。次の10年を違う会社の人たちが同じ舟に乗ってそれぞれ漕ぎ出してほしいという願いを込めています。その方向を定めるのが母船の役割となります。

YM サービスのスタッフは管理職に限らず、多くの人たちに小舟会に所属してもらいました。今まで会議体に参加したことのないようなスタッフもいます。今のところ、海に投げ出されてどうしていいかわらぬでいるスタッフたちもいますが、会社間の垣根を越えて協力して前に進んでもらいたいと思っています。



カブトムシ ←



ガミキリムシ →

東京YMCA 近況報告

担当主事 菅野牧夫

1. 能登半島地震緊急支援募金は、多くの個人、団体、企業等からご支援をいただき、6月末までに8,827,994円が寄せられた。募金はこれまでに、輪島市町野町の避難所運営スタッフの派遣費用、支援物資の購入費用等として用いた。今後も全国YMCAと協力しながら、被災した子どもたちのレクリエーションやキャンプなどを計画、実施していく予定。
2. 7月6日～7日、「山中湖センター100周年記念お披露目会」が山中湖センターで開催され、寄付協力者約40名が集った。募金によりリノベーションされた宿泊施設を見学し、またクライミングウォールやアーチェリーレンジなどの新設されたプログラム施設を体験した。また参加者の交流の時間も持たれた。
3. 経済的に困難を抱えるご家庭の子どもたち(小学生)を対象に「山中エンジョイキャンプ」を8月23日から2泊3日で、山中湖センターにて実施する。また、「外国にルーツのある子どものサマーキャンプ2024」を同時に行う。いずれも東京YMCA山中湖センター100周年記念事業「キャンプ100人招待プログラム」として、多くの個人や企業の支援を受けて実施される。
4. 今年度から事業を開始した「多文化共生スペース▽」では、6月15日と7月13日に仲山淳子氏(東京YMCAこほんご学院講師)による「多文化理解講座」をハイブリッド形式で実施し、合わせて延べ85名の参加があった。「外国にルーツのある子どもたちの現状と課題」及び「子どもの学びを支援する(日本語を教える)」をテーマに、地域社会全体で子どもたちを理解し支えていくことを目指し、学びを深めた。
5. 今後の主な行事予定
 - ・第38回インターナショナル・チャリティーラン」9月28日
 - ・「国際協力一斉街頭募金」新宿駅周辺 11月2日



今月の聖句によせて(2024年8月)

朝日新聞の声欄に、元看護師で現在会社員をしておられる63歳の女性からの、概略つぎのような投稿が載せられました。見出しには、「旧優生保護法 私も謝罪します」とつけられていました。

「旧優生保護法下で不妊手術を強制された被害者に岸田首相が面会して謝罪しました。最高裁で違憲判決を受け、国会が謝罪決議と賠償へ動いているので、首相が謝罪するのは当然ですが、医療や行政の関係者など謝るべき人はもつといえるはずで、私もその一人です。看護学生だった頃自分は旧優生保護法を学んだが、何の疑問も感ずることなく、卒業後に勤務した精神科で身体拘束の方法を指導され、患者の手首や足首を、罪悪感を感じることなく拘束しました。患者さんの中には不妊手術を強制された方がいたかもしれません。無知で傲慢な看護師でした。申し訳ありませんでした。

時代とともに常識も変化し、法律も改正されますが、根源にある人権や命の重さは不変であるはずですが、でも、私たちは過ちを犯し、謝罪を繰り返します。過ちに早く気づくため、一つ一つの言動に常に疑いを持つことが必要だと思います。」

長く引用、紹介したのは、私もまったく同じようなことを思っていたからです。旧優生保護法は1948年から1996年まで、48年間、有効な法律でした。目的は、「不良な子孫の出生防止」と「母性の生命健康の保護」とされ、本人等の同意を得て、医師が任意に優生手術を行うことができるといったもの。(現実には強制に近いこと)

63年前、児童福祉を専攻する学生であった大学1年の年末、年始に、知的障害児(当時、精神薄弱児)の収容施設で2週間の住み込みアルバイトをしたときにこの法律に出会い、当初、強く疑問を感じましたが、その後忘れていきました。

十字架上のイエスを傍観する民衆の一人である自分を見出して、思えば、なんと罪深い自分であることか。

「あなたも見ていたのか、主が木にあげられるのを。ああ、いま思えば、深い深い罪にわたしはふるえてくる。」(讚美歌第2編177番)

並木信一

2024年度7月キックオフ例会報告 書記:小口

日時:2024年7月13日(土)pm6時~8時 北野事務所

出席者(敬称略):総勢17名

(A)長谷川、佐藤、稲葉、小口

(B)並木(真)、花輪、久保田、久保田メネ、望月

(C)並木(信)、並木メネ、大久保、山本

(ゲスト)奥野玉紀(卓話者)、宮内蒼也(ひつじくも OB)、折原美結・松崎梨紗(ひつじくも)

・今年度の会長主題と抱負・並木 真会長

主題「協働と共感」・私達の八王子クラブにとって、切り離せない中央大学学Yひつじくもと共にこの1年も協働して、お互いを成長させていきたい。ひつじくもは今年度もユースアクションに参加、川口市の外国人居住の方々との交流に取り組んでいます、八王子クラブもサポートしつつ、一緒に問題解決をまた、他の事柄も若者と共に協働していきたいと考えています。(概略です)

・卓話・「日本ガラパゴスの会」と「子ども食堂カフェ北野」



卓話者:奥野玉紀さん

高校生の時に応募した異文化交流プログラムで南米エクアドルに、ガラパゴスへの関心から研究、ガイアの道、

保護へ。欧州滞在后、日本ガラパゴスの会設立、ガラパゴス保全と現在の子供食堂カ



フェ北野の運営との結び

つき、その共通点は、「今日をつかめ、今を幸せに生きよう」であった。

・報告(会長):主に近日中の予定は、

- ① 7月20日(土)7月第二例会6時~ 30周年記念会打ち合わせ
- ② 7月27日(土)第1回あずさ部評議会(松本)予定者:並木会長、長谷川、久保田、稲葉、小口
- ③ 8月10日(土)直前会長感謝会 16:30~「北海道」JR八王子駅北口 参加締め切り日20日
- ④ 8月24日(土)8月第二例会
- ⑤ 8月8~11日ワイズ国際大会 タイ・チェンマイ
- ⑥ 9月6~8日YMLF 山中湖センター
- ⑦ 9月14日(土)、21日(土)の例会は、30周年記念準備会に。

⑧ 9月28日(土)東京YMCAチャリティーラン 東京木場公園

⑨ 10月26日(土)八王子クラブ創立30周年記念例会、八王子エルシーにて

・アピール「パレスチナ支援チャリティー映画会」

立ち上げ人 宮内蒼也さん

2024年9月28日(土)2:00~5:00 場所:AYOSTUYA (日本YMCA同盟横、四谷)

主催、学生YMCAシニア有志、共催、日本YMCA同盟 参加費1000円

・お知らせ:記念誌発行(山本)

一人原稿は500字、写真(必須)8月末まで記念会公演のピアノの費用について(久保田)

・お誕生日:奥野さん、花輪さん、稲葉さん



・スマイル(12,000円)

7月第二例会議事録 記録:長谷川

日時:2024年7月20日(土)18:00~19:30

会場:北野事務所小会議室(1)

出席:並木真、久保田、花輪、望月、山本、佐藤、長谷川 (7名)

〈報告〉

・7月第一例会:7月13日(土)18:00~20:00 北野事務所大会議室

卓話「こども食堂カフェ北野」と「日本ガラパゴスの会」奥野玉紀さま

参加メンバー11名、メネット2名、ゲスト2名、ひつじくも2名 合計17名

〈予定〉

・8月10日(土)16:30~ 直前会長感謝会

会場:八王子駅北口 居酒屋「北海道」

参加者:稲葉、小口、佐藤、長谷川、並木真、久保田、久保田メネ、花輪、並木信一、並木メネ、大久保、菅野、山本、宮内蒼也さん、福田勝江さん、ひつじくもより3名 合計18名

メンバー 2,600円、ゲスト・メネット 3,600円 ひつじくもは招待、菅野さん領収済み

- ・8月24日(土)18:00～ 8月第二例会 北野事務所小会議室
- ・9月14日(土)第一例会だが30周年準備例会とする。…記念誌検討
- ・9月21日(土)第二例会
- ・10月12日(土)第二例会扱いとする。…30周年記念例会の当日のための打ち合わせ
- ・10月26日(土)11:00～14:00 会場一八王子エルシー
 ※10月25日(金)の晩と26日(土)30周年記念例会後にIBCの方と懇親食事会をする。
 (IBCの方の食事代はクラブ会計からとする。)
- ・12月14日(土)クリスマス例会 担当C班 大学セミナーハウス
 (ワイズ、YMCA関係)
- ・7月27日(土)13:00～ 2024-25 あずさ部第一回評議会 松本にて。
 参加者—並木真、久保田、小口、長谷川、稲葉 (5名)
- ・8月8日(木)～11日(日)国際大会・タイ チェンマイ
- ・9月6日(金)～8日(日)ユースボランティアリーダーズフォーラム 東京YMCA 山中湖センター
 参加者:並木真
- ・9月28日(土)第38回東京YMCA インターナショナルチャリティラン 木場公園
 ボランティア募集:東京YMCAのHPからも申し込み可能
- ・9月28日(土)～29日(日):第20回富士山例会(富士山5合目佐藤小屋)
 富士五湖・サンライズ・武蔵野多摩クラブの合同ホスト
- ・10月19日(土)あずさ部部大会 ホスト甲府クラブ 会場:石和温泉
- ・11月5日(火)～ NYC ユースコンボケーション ドバイにて ※まだ正式な案内はきていません。
 (協議事項)
- ・2024-25年度八王子クラブ会計予算(案)…承認
 30周年記念例会についての話し合い
- 祝辞を頂く方…5名 (久保田さんより依頼)
 東京YMCA 副総主事 星野太郎氏
 東日本区理事 山田公平氏
 あずさ部部長 ピーター マントフォード氏
 東京サンライズクラブ会長 御園生好子氏
 ひつじくもOB会会長 柳原絵里子氏
- 30周年記念誌の原稿依頼
 東京YMCA 総主事 菅谷 淳氏
 東日本区理事 山田公平氏
 あずさ部部長 ピーター マントフォード氏
 JCBL 理事 清水俊弘氏
 高雄ポートクラブ会長 ○○○○氏
 ひつじくもOB会会長 柳原絵里子氏

ひつじくもワイズ係 折原美結さん
 八王子クラブ創設者代表 奈良昭彦氏
 ※以上8名に原稿依頼(久保田さんより依頼)
 ※800字以内 締切は8月末日

※クラブメンバーの原稿は山本さんからの原稿依頼の通り 締切 8月末日
 ※会員・メネットの言葉はメン・メネットの連名での投稿でもよい。
 *記念誌表紙は部報表紙の形態に倣う—山本さん作成 編集(山本さん)の後、並木会長に送り、会長からプリントパックに印刷を依頼
 ☆ 記念例会出席申し込み最終締め切り—9月20日
 ○7月27日第1回評議会にて案内書を出席者に配布
 ○8月下旬にワイズコム、並びにあずさ部クラブ会長・部役員に再度案内をメールです。

8月お誕生の方

並木美奈子さん 8月23日

先月の例会ポイント (7月)

在籍	12名	切手	0g 計45g
メン	11名	現金	0円
メイキャップ	0名	累計	0円
出席率	92%	スマイル	12,000円
メネット	2名	累計	12,000円
ゲスト	2名	オークション	0円
ビジター	0名	累計	0円
ひつじくも	2名		



キックオフ例会：卓話者興野玉紀さんを囲み

八王子祭り

台湾・高雄市パフォーマンス
場所 八日町交差点南側
海外友好交流都市・高雄市の演技が披露されます。



関東屈指の山車まつりといわれる「八王子まつり」には、精巧な彫刻が施された 19 台の山車が登場します。夜の巡行では灯火(ともしび)により山車が照らし出され、昼間とはまた違った幻想的な光景が広がり、巡行する姿は一見の価値があります。

そのほか、市内の神社などに伝わる八王子市指定無形民俗文化財である獅子舞、夏空に響き渡る関東太鼓大合戦、浴衣姿の踊り手が甲州街道に集う民踊流し等、八王子が誇る伝統文化の数々を充分にご堪能いただけるものと存じます。



宵宮の舞（八王子芸妓）

場所 西放射線ユーロード 中町公園

八王子芸妓が皆様の前で踊ります。「八王子芸妓」は日本遺産「桑都物語」の構成文化財の1つになっています。

